

アンコールワットの魅力とカンボジアの今

9月5日(木) 城陽公民館にて、山口文代さんを講師とする「アンコールワットの魅力とカンボジアの今」と題した国際理解出前講座を開催しました。

山口さんは、アンコールワット近くにある日本語学校を長年にわたって支援しておられます。カンボジアの地理や日本からの行き方、国旗の話に始まり、簡単なクメール語の練習、地雷被害の実態、日本語学校と姫路市の中学生との交流、世界遺産アンコールワットの楽しみ方など、盛りだくさんの内容の講座でした。



急激な経済発展をとげながらも、一歩都会を離れると、上下水道などのインフラも整備されていない過酷な人々の暮らしや、地雷被害のために苦しみながらも懸命に生きる人々の様子など、現地で支援をしてこられた講師ならではのお話もありました。

山口さんは、姫路市内の中学生と協力をして、井戸を寄付する活動もされています。左の写真は、山陽中学校の生徒さんが寄付をした井戸だそうです。

今回参加された方の中には、カンボジアに行ったことがある人が3人、これから行く予定の方が4人おられました。特にクメール語のお話には、熱心にメモを取っておられる方が多かったです。

また、講座後「地雷被害を受けた人々の姿に心が痛む」「経済格差はなんとかならないのか」といった感想をもらう方もいらっしゃいました。

カンボジアの魅力を知ると同時に、様々な問題を考えるきっかけとなる講座でした。

クメール語で「ありがとう」は「オークン」です！

